

令和7年度の小原田教育の充実に向けて

R7.2.20

小原田小

令和7年度の小原田小の教育を次のように進めていきます。

- 1 小原田中学校との「共通実践と連携」を進め、小中で協力して小原田地域の子どもを育てていきます
 - (1) 小原田中学校と同じ「評価の2期制（年2回の通知票）」の実施により、小中同じ歩調で子どもたちを育てていきます。
 - (2) 小原田中学校との「生徒指導の共通実践」を進め、情報交換・情報共有を積極的に行っていきます。
 - (3) 小中連携授業をとoshi、子どもたちの様子を互いに参観し合い、情報交換し、子どもの実態に適した授業改善に努めていきます。

- 2 出前授業とキャリア教育を実施し、充実した学びに結び付けていきます
 - (1) 出前授業や外部講師を積極的に活用し、専門家の話を聞いたり具体的な体験をしたりする機会を設けていきます。
 - (2) 5年で「ものづくり体験教室」、6年で身近な職業を取り上げた「キャリア教育」を実施し、将来の職業への関心を喚起します。
 - (3) 「評価の2期制（通知票を年2回）」により、特別時程（B時程）の回数を減らします。
 - (4) 教育委員会への報告・連絡・相談を大切にし、教育委員会と連携した生徒指導改善と授業づくりに結び付けていきます。

- 3 子どもたちの問題解決力を育てていきます
 - (1) SNSトラブルに対応するため、情報モラル教育（ネット・スマホ出前講座）を実施します。
 - (2) 「縦割り班」による清掃を実施し、高学年をリーダーにした異学年交流の機会を設けます。
 - (3) 「評価の2期制（年2回の通知票）」により、夏休み前・冬休み前の授業のまとめや生徒指導を充実させます。
 - (4) トラブルや生徒指導問題について、教育委員会や関係機関、外部機関と積極的に連携し、対応していきます。

- 4 その他
 - (1) 朝の時間に混み合い電話が繋がらない状況のため、朝のお忙しい時間帯でも連絡しやすいように、欠席連絡をSNSでも行うことができるようにしていきます。
 - (2) お問い合わせやご要望が大変多い通級指導教室の取組と特別支援学級の様子について、情報発信を積極的に行っていきます。